

# ミネラルウォーターの輸入 平成 15 年 6 月 25 日 大 阪 税 関

## 体の中からきれいに！

～ 2002 年数量・価額ともに過去最高！～

今年 3 月、京都で世界の水問題を考える第 3 回世界水フォーラムが開かれました。また、今月フランスのエビアンで開催された先進国首脳会議でも、水環境問題が主要テーマの一つとして選ばれました。元々我が国では水質が良く、水道の水がそのまま飲めるというのが常識でしたが、最近ではミネラルウォーターを飲む人が増え、その結果ミネラルウォーターの輸入が毎年増え続け、2002 年には数量・価額とも過去最高を記録しています。そこで今回はミネラルウォーター（統計品目番号：2201.10-000「鉱水及び炭酸水」）の輸入について特集してみました。



フランスには、テルマリズムセンターと呼ばれるミネラルウォーターを用いた病気治療センターが 100 か所以上あるそうです。テルマリズムとはフランス語で「温泉で肌をケアすること」を意味します。これらの施設では、治療に健康保険や社会保険が適用されていて、ミネラルウォーターの治療効果が医学的に認められているということです。ヨーロッパではミネラルウォーターは医学的効果が高いと考えられており、飲料用のミネラルウォーターの基準も大変厳しいものとなっています。

日本では、農林水産省が策定したミネラルウォーター類の品質表示ガイドラインに従って、表示がされています。

ミネラル分が多く含まれる硬水は、便秘や肌荒れ、カルシウム不足による骨粗しょう症などに効果的といわれています。その上、ノンカロリーであることからダイエットにも役立つということで、特に女性の注目を集めているようです。（「豆知識」参照）

### 日本のミネラルウォーター類（容器入り飲用水）の品質表示ガイドライン

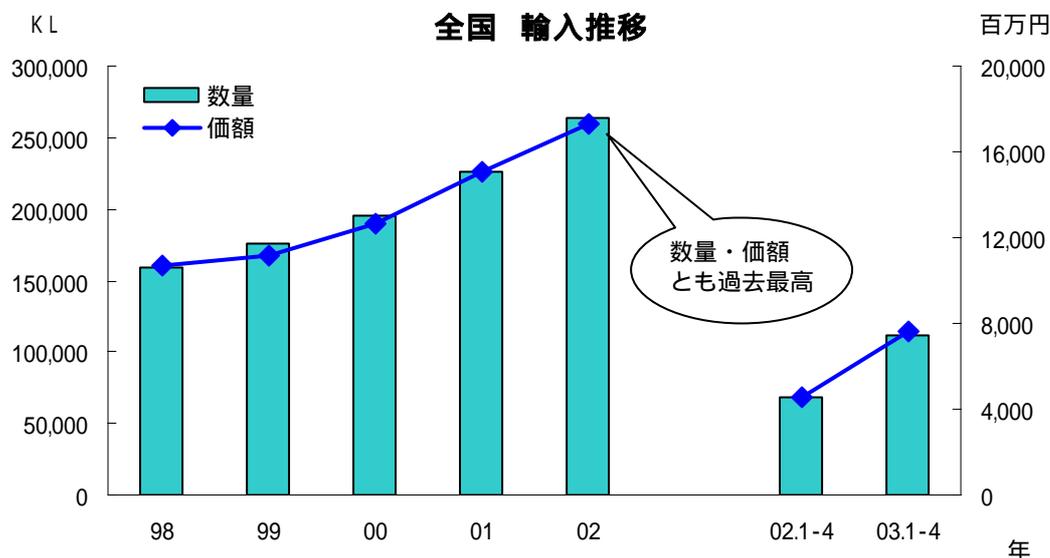
ナチュラルウォーター	特定の水源から採水された地下水を原水とし、沈殿、ろ過、加熱殺菌以外の物理的・化学的処理を行わないもの
ナチュラルミネラルウォーター	ナチュラルウォーターのうち、鉱化された地下水を原水としたもの
ミネラルウォーター	ナチュラルミネラルウォーターを原水とし、品質を安定させる目的等のためにミネラルの調整、ばっ気、複数の水源から採水したナチュラルミネラルウォーターの混合等が行われているもの
ボトルドウォーター	ナチュラルウォーター、ナチュラルミネラルウォーター、ミネラルウォーター以外のもの

農林水産省

## 輸入動向

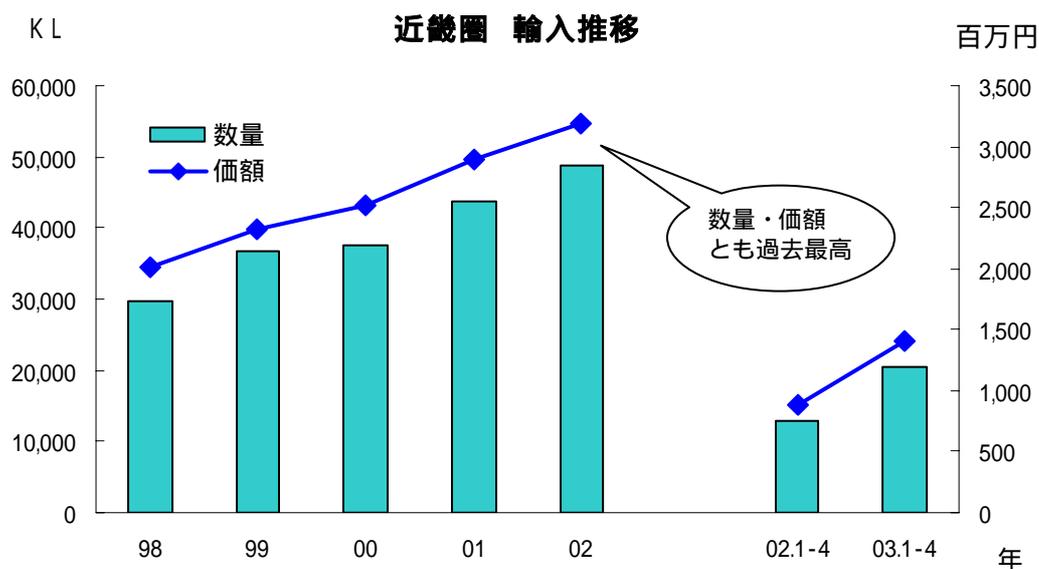
全国における2002年の輸入は、数量で264,078 K L（前年比16.8%増）、価額で172億87百万円（同14.9%増）となりました。

2003年1～4月分の輸入は、数量で112,266 K L（前年同期比64.0%増）、価額で76億73百万円（同68.4%増）となっており、数量・価額ともに昨年を上回るペースで推移しています。



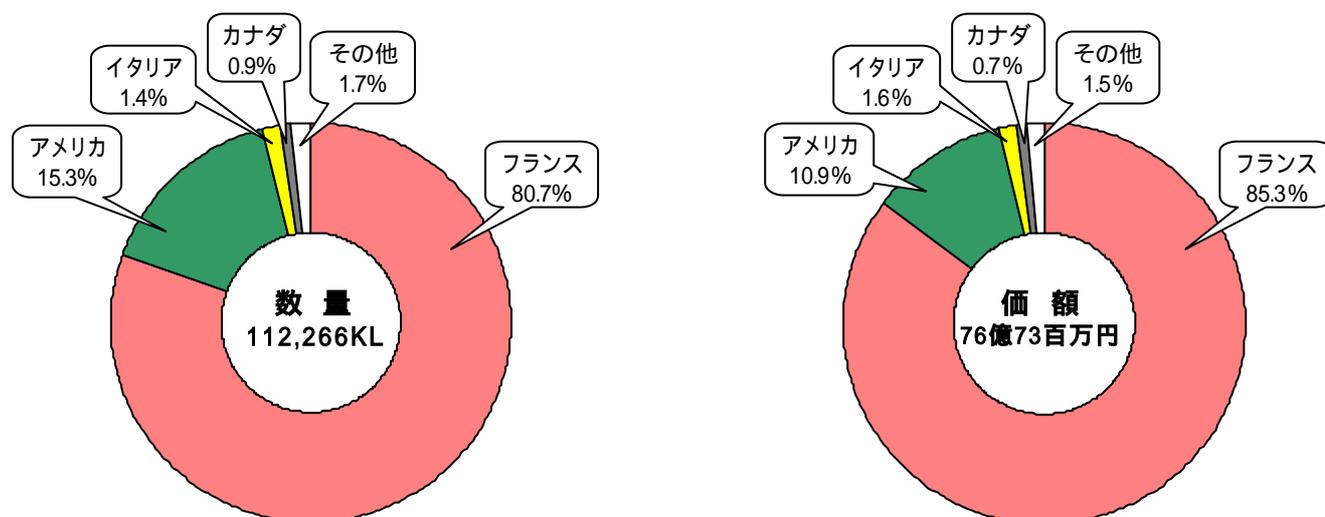
近畿圏における2002年の輸入は、数量で48,782 K L（前年比11.4%増）、価額で31億89百万円（同10.4%増）となりました。

2003年1～4月分の輸入は、数量で20,511 K L（前年同期比58.9%増）、価額で14億13百万円（同60.6%増）となっており、数量・価額ともに昨年を上回るペースで推移しています。全国シェアは、数量で18.3%、価額で18.2%となりました。



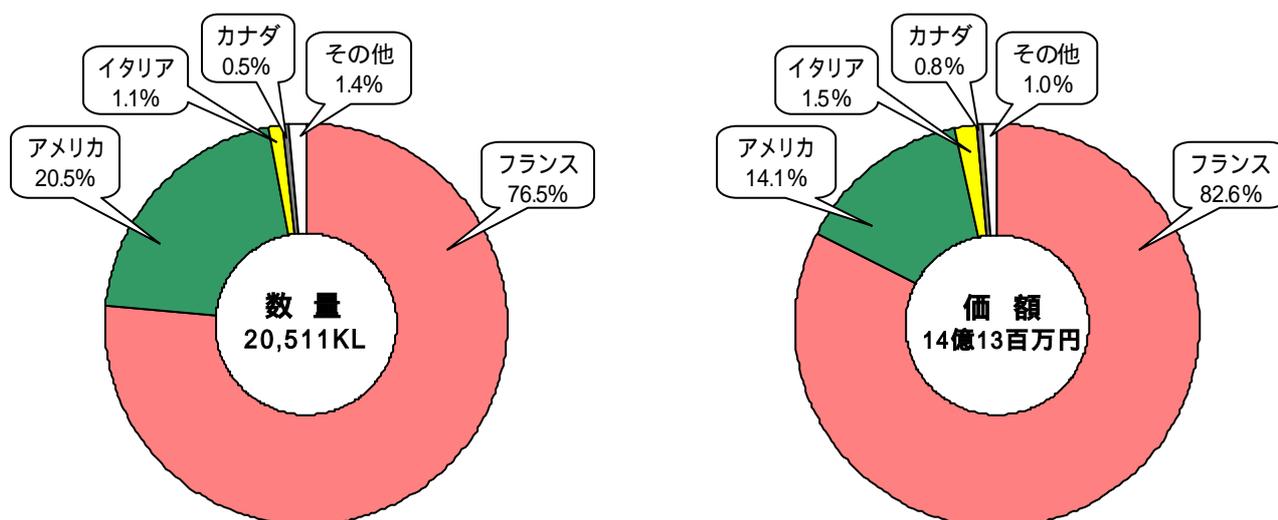
## 国別動向

### 全国 国別構成比 (2003年1~4月)



全国における2003年1~4月分の輸入量を国別で見ると、フランスが90,575KL(構成比80.7%、以下同じ)、アメリカが17,223KL(15.3%)、イタリアが1,523KL(1.4%)となっています。また、輸入額では、フランスが65億47百万円(85.3%)、アメリカが8億39百万円(10.9%)、イタリアが1億20百万円(1.6%)となっています。

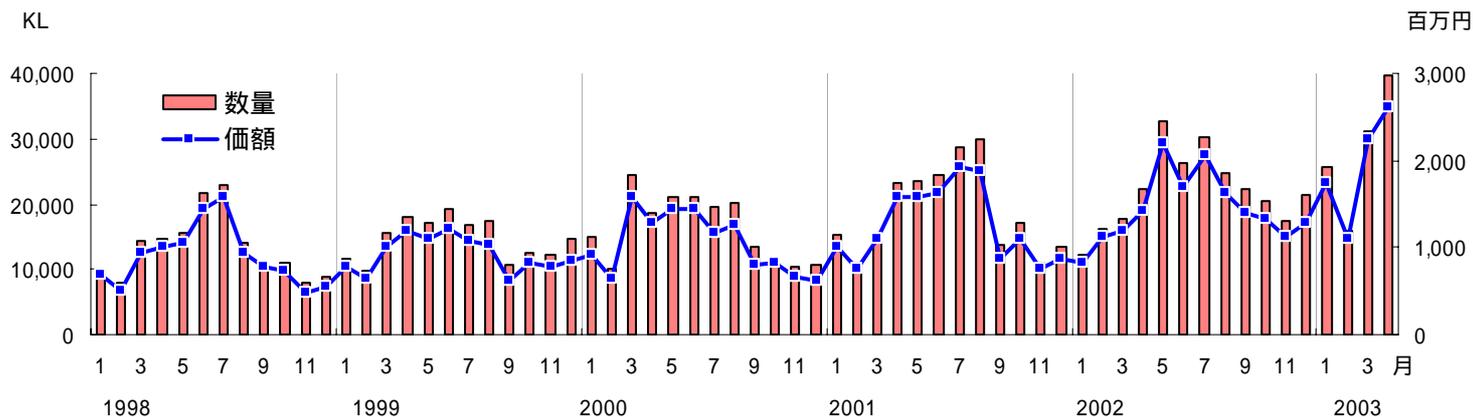
### 近畿圏 国別構成比 (2003年1~4月)



近畿圏における2003年1~4月分の輸入量を国別で見ると、フランスが15,687KL(76.5%)、アメリカが4,211KL(20.5%)、イタリアが234KL(1.1%)となっています。また、輸入額ではフランスが11億67百万円(82.6%)、アメリカが1億99百万円(14.1%)、イタリアが22百万円(1.5%)となっています。

## 月別動向

### 全国 月別推移



全国の輸入量を月別に見てみると、需要が増加する夏に向けて3月頃から輸入が増加しています。特に、2003年4月は、数量で39,598KL（前年同月比78.8%増）、価額で26億2百万円（同81.9%増）となり、1986年にヨーロッパの無殺菌ミネラルウォーターの輸入が正式に認められ、本格的な輸入が始まって以来最高の輸入量・輸入額を記録しています。

ミネラルウォーターは、ほとんどが海上貨物で、船で日本まで運ばれます。輸入の最も多いフランスからは、1~2カ月かけて日本まで運ばれることになります。

## 増加要因

輸入が増加している要因は

- ・「水はタダ」から「水を買って飲む」というように人々の意識が変化し、業界全体が拡大していること
- ・味や成分、容量など種類が豊富で、より細かい消費者のニーズにこたえることができること
- ・自動販売機やコンビニ、スーパー、インターネットなど、様々な方法でいつでも手軽に購入できること
- ・健康を気遣う人が増え、ミネラル分が豊富な硬水を飲む人が増えたこと
- ・500mlより少量のペットボトルなども販売されており、日常携帯するのに便利なこと

などによるものと業界ではみています。

## 今後の見通し

国内のミネラルウォーター消費のほとんどは家庭用で、ミネラルウォーターは日常生活に欠かせないものとして定着しており、今後も安定した市場拡大が期待できることや、「健康面・安全面」を重視する消費者が増えてきていることなどから、おいしくて安全なミネラルウォーターの需要は今後も高まると業界ではみています。

本資料を他に転載するときは、大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。

本資料に関する問い合わせは、大阪税関 調査統計課まで。（電話 06-6576-3240）

大阪税関ホームページ（<http://www.osaka-customs.go.jp>）

## ミネラルウォーター(鉱水及び炭酸水)の輸入

(単位/数量:KL、価額:百万円)

全国  
・年別推移表

年	数量	前年比	価額	前年比	円/L
1998	159,127	107.1%	10,672	112.0%	67
1999	175,582	110.3%	11,131	104.3%	63
2000	195,334	111.2%	12,626	113.4%	65
2001	226,061	115.7%	15,040	119.1%	67
2002	264,078	116.8%	17,287	114.9%	65
2003.1-4	112,266	164.0%	7,673	168.4%	68

・2003年1-4月 主要地域国別表

地域国名	数量	前年比	価額	前年比	円/L	数量構成比	価額構成比
全世界	112,266	164.0%	7,673	168.4%	68	100.0%	100.0%
フランス	90,575	176.3%	6,547	182.3%	72	80.7%	85.3%
アメリカ合衆国	17,223	123.3%	839	107.2%	49	15.3%	10.9%
イタリア	1,523	176.5%	120	160.3%	79	1.4%	1.6%
カナダ	1,020	224.6%	57	208.3%	55	0.9%	0.7%

近畿圏  
・年別推移表

年	数量	前年比	価額	前年比	円/L	数量全国比	価額全国比
1998	29,580	104.2%	2,007	109.4%	68	18.6%	18.8%
1999	36,856	124.6%	2,322	115.7%	63	21.0%	20.9%
2000	37,607	102.0%	2,514	108.3%	67	19.3%	19.9%
2001	43,801	116.5%	2,887	114.9%	66	19.4%	19.2%
2002	48,782	111.4%	3,189	110.4%	65	18.5%	18.4%
2003.1-4	20,511	158.9%	1,413	160.6%	69	18.3%	18.4%

・2003年1-4月 主要地域国別表

地域国名	数量	前年比	価額	前年比	円/L	数量構成比	価額構成比
全世界	20,511	158.9%	1,413	160.6%	69	100.0%	100.0%
フランス	15,687	171.8%	1,167	171.8%	74	76.5%	82.6%
アメリカ合衆国	4,211	134.5%	199	119.8%	47	20.5%	14.1%
イタリア	234	155.4%	22	160.8%	92	1.1%	1.5%
カナダ	107	489.8%	11	908.6%	101	0.5%	0.8%

統計品目番号:2201.10-000

国内生産量(出所:日本ミネラルウォーター協会)

年	数量	前年比	価額	前年比	輸入数量シェア	輸入額シェア
1998	714,600	110.6%	65,991	119.8%	18.2%	13.9%
1999	956,400	133.8%	85,791	130.0%	15.5%	11.5%
2000	894,300	93.5%	78,001	90.9%	17.9%	13.9%
2001	1,021,200	114.2%	85,540	109.7%	18.1%	15.0%
2002	1,110,500	108.7%	98,119	114.7%	19.2%	15.0%



## 豆知識～ミネラルウォーターとダイエット～

### 硬度

ミネラルウォーターはみな、成分や味に違いがあり、硬度によって軟水・硬水に分けられます。硬度とは、水の中にカルシウムとマグネシウムがどれだけ溶け込んでいるかを数値化したものです。日本の水は硬度 100 前後の軟水ですが、ヨーロッパの水は硬水が多く、中には硬度 1500 以上の超硬水もあります。ミネラル分が豊富な硬水を朝起きてすぐ飲むと、胃腸を刺激して便秘の解消に効果的です。便秘が解消すれば、吹き出物が減ったり、宿便による不自然な体重増加を防ぐことができます。



ミネラルウォーターの硬度別用途

硬度 (mg/L)	用途
～ 100 軟水	粉ミルク、和風だし、日本茶など
100～300 中硬水	鍋物、洋風だしなど
300～ 硬水	ダイエット、ミネラル補給など

### 水と血液

血液は体中の細胞に酸素や栄養を運ぶ大切な役割をします。体内の水分が不足すると血液がドロドロになり、血液の流れが悪くなります。この状態が長く続くと、高血圧、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病などの病気を引き起こしますが、女性が抱える美容の悩みもドロドロ血液が原因であることが多いようです。十分な水分補給をすることで血液がサラサラになり、血行不良が原因となる冷え性の緩和にもつながるうえ、細胞に十分な水分や酸素がいきわたることで新陳代謝がよくなり、肌のくすみやシミの解消にも効果があるようです。

また、お尻や太もものあたりに脂肪の組織の固まりが線状になってできる「セルライト」も、動物性脂肪の摂り過ぎによるドロドロの血液が原因といわれています。

### 水とダイエット

偏りのあるダイエットは肌が荒れたり、ミネラルバランスが崩れて骨がスカスカになってしまったりすることがあります。便秘の解消や新陳代謝をよくするのに役立ち、しかもノンカロリーであるミネラルウォーターは、ダイエットにも強い味方といえるでしょう。

### 上手な水の飲み方

- ・まず、朝起きてすぐ飲む
- ・一回にコップ一杯ぐらいの水を数回にわけて飲む（だいたい1日に1.5～2L）
- ・ペットボトルに直接口をつけない（雑菌が繁殖するおそれがあります）
- ・のどが乾いていなくても飲む
- ・スポーツをしたときや、入浴後は、少し多めに水分を補給するのがよい

### \*\*\*世界の水事情\*\*\*

現在の世界全体に存在する水のうち、淡水はわずか 2.5%で、そのうち利用可能な水は 0.01%に過ぎません。

5人に1人（約12億人）が安全な飲料水を確保できておらず、5人に2人（約24億人）は下水などの衛生施設がない状態です。

毎日約6000人の子どもが水関連の病気で死亡しています。

水は、蛇口をひねれば出てくるものではなく、限りある資源なのです。

